

再び核の戦場にさせぬため
被爆市民、戦争体験者は語りつぐ

第8回

原爆と戦争展

日本の現状もたらした第二次世界大戦の真実伝える

入場無料



8月6日午前11時頃 御幸橋西詰。
建物疎開作業中に被爆した広島女子
商業、県立第一中学校の生徒が多く
いた。(松重美人氏撮影)



負傷した戦友を背負った兵士
(昭和13年6月、徐州へ向かう津浦線沿い 金沢秀憲氏撮影)

展示内容

パネル「原爆と峠三吉の詩」

(広島、長崎の被爆写真、原爆詩人・峠三吉の詩、子どもたちの詩)

パネル「第二次世界大戦の真実」

パネル「沖縄戦の真実」「全国空襲の記録」

被爆資料、呉空襲など市民提供の資料、体験記
(関連企画) 東日本大震災・福島原発事故特集

【被爆体験を聞くコーナー】 27日～31日の5日間のみ(随時)

5/27(月)～6/9日(日)

午前9時～午後4時半(土、日は10時15分開館)

広島大学中央図書館 地域・国際交流プラザ

主催 「原爆と峠三吉の詩」原爆展を成功させる広島の会

協力 広島大学図書館

連絡先 事務局 広島市東区若草町5-9 電話・FAX 082(263)0611 E-mail: genhiro@mx41.tiki.ne.jp
広島大学図書館地域交流・出版会主担当 東広島市鏡山1丁目2-2 電話 082(424)6226